

会長メッセージ

岐阜県恵那市での国体に久しぶりに、役員として参加してきました。

国体の応援マナーがだいぶ良くなりました。かつてのように、相手チームにも影響しかねないような声援も影を潜め、喜ばしい傾向だと思いました。

ただ、一部には、的中・勝負にこだわり、体配・射技に、首をかしげたくなるようなチームがいたのも、事実です。

そんな中、奈良県選手団は、立派でした。少年女子は**近的2位、遠的5位**と大健闘、体配もしっかりしていて、見ていて、誇らしく思いました。成年女子ももう少しというところで決勝進出にいたりませんでした。晴れの舞台上、実力を出し切り、立派なものでした。

その結果、**皇后杯得点で5位に入賞**。おめでとうございます。また、遠路奈良から、沢山の応援団が来てくれました。ありがとうございました。

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

ぎふ清流国体を終えて

少年女子 近畿ブロック大会を総合2位で通過し、少年女子チームは岐阜県での本国体に向け、気持ちも新たに練習を再開しました。レギュラーメンバー全員が3年生であり、控えの2年生2人も9月の大会に向けての調整があるため、普段の練習や全員揃っての練習ができない状況ではありましたが、「遠近両種目での入賞」を目指し、より質の高い練習ができるよう心がけました。壮行射会では県弓道連盟の方々から、楽しく、また力強い激励のお言葉をいただき、トーナメント戦では良い練習ができました。

さて、いよいよ岐阜に乗り込みましたが、練習ではなかなか高的中が出ず、不安を抱えたまま競技に臨むことになりました。

第1日目の10月6日、近的の予選が始まりました。1回目は9中とまずまずの滑り出しでした。練習会場では、高塚コーチの粘り強い交渉の結果、2回目に向けて十分調整をすることができました。その2回目は10中で合計19中となり、4位タイで決勝トーナメント進出が決まりました。トーナメント抽選では、1回戦で予選22中とトップの熊本と当たることになりました。選手からはくじ運の悪さを嘆く声もありましたが、闘志を失

わず、自分たちの弓を引けば勝負できると気合いを入れました。

第2日目、遠的競技が始まりました。遠的は近畿ブロック後、週末の天候が悪かったため、あまり練習ができず、国体の練習会場でもそれほど良い得点は出ていませんでしたが、登調子ではありました。1回目は61点と十分予選通過が狙える位置につきました。2回目は68点と高得点を出し、合計129点で遠的も決勝トーナメント進出を決めました。

トーナメント抽選ではまたしても1回戦で熊本と当たることになりましたが、抽選から戻ると選手達からは「熊本と当たると思っていました。」と言われました。

その遠的決勝トーナメント1回戦の熊本戦では、相手の高得点に及ばず73点对49点で敗れました。しかし、すぐに気持ちを切り替え、5～8位決定戦では6射33点で5位に入ることができました。

遠的競技が終わるとすぐ、翌日の近的決勝トーナメントに向けて練習を始めました。熊本に2度も負けたくないという気持ちは誰もが持っていたと思います。練習での調子も上向いてきました。

第3日の朝、練習会場の近くで吉本先生にお会いし、「マイペースで引いてきなさい」とのアドバイスをいただきました。練習会場では、熊本と隣で練習することになり、互いに意識をしながらの立練習となりましたが、普段通りを心がけました。

1回戦、選手達は重圧の中10中を出し、8中と崩れた熊本に勝つことができました。喜ぶまもなく準決勝の招集に入り、1回戦で12射皆中を出した鳥取と当たることになりました。鳥取戦では、相手の早いペースに乱されることなく、自分たちのペースで的中を積み重ね、12射皆中で決勝に進むことができました。

決勝の相手は遠的競技で優勝している高知でした。1回戦は6中、準決勝は9中とさほどの中は出ていませんでしたが、決勝では11中を出し、奈良は9中で敗れました。しかし、12射皆中のあとも大きく崩れることなく、予選からの的中は9中、10中、10中、12中、9中と安定していました。最後は、良い波が相手にありましたが、重圧の中で自分たちの弓道を立派にしてくれたと思います。体配も3人が息を合わせ、きれいに揃えてくれました。

思い返せば、昨年の近畿ブロックであとわずかというところで本国体出場を逃し、そこからのスタートでした。昨年からの候補選手である、中西（五條高）、南方（高田商業高）が国体出場に強い思いを持ち、高松（高田商業高）を加えた立ちは、試合に強く、素晴らしい射を見せてくれました。また、控えの2年生、前田（高田商業高）と園田（橿原高）も練習では3年生と競い合い、試

合では素晴らしいサポートをしてくださいました。

コーチの川崎先生と岐阜に、同行していただいた高塚先生にも本当にお世話になりました。また、奈良県はもとより、近畿各県の方々から大きなご声援をいただき、とても良い状態で試合に臨むことができました。今回の結果も周りの皆様の支えがあったからこそだと思っております。

最後になりましたが、チームを支えていただいた多くの方々にお礼を申し上げます。会長の吉本先生をはじめ、県弓道連盟の方々には、ご指導や激励のお言葉をいただき、本当にありがとうございました。

国体少年女子監督 澤 一彦

成年女子

国体を終えて、選手一人ひとりから感想とお礼を申し上げます。

東中 千佳

10/6～9に岐阜県恵那市で“岐阜清流国体”が開催され、初めて選手として参加しました。ずっと目標としてきた舞台に挑戦出来るチャンスをもらってから…あつという間でした。国体前に全日という大きな舞台でも引かせて頂きました。全日・国体との練習の両立…出来ていたかは分かりません。ただ…その場所で“自分の射”が1本でも出せたら◎と思い練習をしてきました。結果は出せませんでした。全日・国体を経験させて頂きまだまだ全国レベルに及びもしない内容だと改めて痛感しました。全日の経験、国体のチームでの経験、この事を次に繋げられる様にこれからも上を目指して頑張っていきたいです。

岐阜まで応援に来て頂いた皆様には心から感謝いたします。ありがとうございました。

林 秀子

今回、岐阜という比較的近場での開催ということで、沢山応援に来てくださりありがとうございました。三度目の国体はやっと落ち着いて挑めたので、沢山の声援と拍手が射場からよく聞こえました。また来年出直します。

白井 礼子

暑い夏の強化練習を頑張り、ブロック予選通過できた時は、本当に嬉しかったです。私にとって、32年ぶりの国体出場でした。そして、沢山の方に応援して頂き、ありがとうございました。一生懸命頑張りましたが、惜しくも予選通過できなかった事で、それぞれにまた課題に向かって練習したいと思います。国体の会場は、地元の方々が盛り上げてくださり、楽しかったです。楽しい思い出になりました。



最後に監督から

監督として13年ぶりの国体は、また新鮮でした。入賞には至りませんでしたが、実力通りの結果が出せたことにチームとして満足しています。選手には長い強化期間ご苦労様でした。休める間もないかもしれませんが、貴重な経験を次に生かしてもらえたらと思います。県連のみなさまにはたくさんのご声援ありがとうございました。次年度の選考会では、さらに多くご参加いただいて、国体を盛り上げてもらえたらと思います。

(阪中計夫)

◆国体近畿ブロック大会を振り返って

成年男子：原田 祐介

8月19日に国体近畿ブロック大会が和歌山県田辺市の田辺市立弓道場で行われました。女子は少年、成年ともに総合2位で見事本大会出場を決めました。男子は残念ながら出場成りませんでした。

私自身、初めて選手として臨んだ大会であり、これまでの応援で感じた雰囲気や昨年の補欠として経験した感覚とは全く異なる緊張感に、冷静でいるつもりであっても地に足が付いていない状態だったのかなと今更ながらに思います。チーム全体も、勝ちたいという焦りと、自分のイメージと実際の射の違いに戸惑い、修復できないままに終わってしまったという感じでした。勝つか負けるかは、表面上は確かに他府県のチームの成績との比較でしかありませんが、それに囚われずに、自分自身を信じて、やるべきことをすることの大切さを痛感しました(それを実行する意志の強さがないと同じ事の繰り返しになるということも含めて)。

また、あの場にいた多くの選手も、レベルの違いはあるにせよ、不安な自分自身と向き合っているという空気を感ずることが出来たのは今後の参考になりました。

今回のブロック大会でのことを、「いい経験をさせていただきました」と来年以降に笑って言えるように、日々精進していきたいです。

最後になりましたが、暑い中、遠くまで応援に来て下さった方や、西浦監督をはじめ、ご指導いただいた多くの先生方、激励を下さった先輩方、国体強化・各所属の道場の皆さんに感謝するとともに、女子チームの本国体での活躍を期待しています。

◆第65回奈良県高等学校総合体育大会弓道競技会決勝

9月23日(金) 橿原公苑弓道場
参加者(予選通過者・通過チーム)個人戦 男子42名
女子26名 団体戦 男子21チーム 女子16チーム
(次ページへ)

成績

男子個人 ①今西達也(王寺工業) ②當麻直哉(高田商業) ③相原卓弥(畝傍) ④久次米 陸(西の京) ⑤藤本 凌介(高田商業) ⑥福岡良剛(高田商業) ⑦吉田竜也(平城) ⑧杉井邦彦(王寺工業) ⑨六車健太(郡山) ⑩松井颯太(橿原)

女子個人 ①山床杏莉(平城) ②前田知明(高田商業) ③山本奈実(奈良) ④南方由紀(高田商業) ⑤葛井麻衣(桜井) ⑥高松愛美(高田商業) ⑦泉ひかり(奈良北) ⑧中西珠美(五條) ⑨平松麻奈(高田商業) ⑩西岡沙織(畝傍)

なお、個人入賞者男女各10名は、11月3日に奈良県立橿原公苑弓道場で行われる近畿高等学校弓道大会に出場します。(団体出場校はすでに決定済み)

男子団体

- 1位 高田商業E (藤本凌介・廣石章人・田中智)
- 2位 王寺工業B (大林航・吉村誠矢・杉田和樹)
- 3位 郡山A (六車健太・平井悠貴・田尻雷蔵)
- 3位 畝傍G (片岡謙人・東沢 蓮・相原卓弥)

女子団体

- 1位 五條A (中西珠美・福井理恵子・平己亜美)
- 2位 高田商業A (前田知明・平松麻奈・山下 梓)
- 3位 高田商業D (上野舞子・南方由紀・高松愛美)
- 3位 青翔A (目見田楓・豊島彩香・増谷綾香)

◆ 第241回定期審査会

8月26日 橿原公苑弓道場にて須田審査委員長のもと審査会が開催されました。結果は、3級3名、2級3名、1級7名、初段119名、弐段2名、三段2名が合格されています。

四段については残念ながら該当者がありませんでした。(審査部)

◆ 平成24年度近畿地区連合審査会

9月30日 滋賀県立武道館弓道場に於いて近畿地区連合審査会が実施されました。

結果は村高 洋志(奈良支部)、松澤 和実(奈良支部) 田中 創一郎(郡山支部)の3名が五段に昇段されました。おめでとうございます。更なる修練に期待するところです(事務局)

支部だより

◆ 橿原市弓道協会 初心者教室

橿原市弓道協会では、市から委託を受け、橿原市弓道教室(初心者向け)を実施しています。教室は5月～12月の期間で約36回を市内2会場(大成中学(木曜)、白樺中学(土曜))で開催しています。

期間中に初心者が一手坐射を行えるようになることを目標に指導しています。毎年両会場共、十数名の受講者がおり、教室終了後は多くの方が更に深く弓道を楽しんでもらえるよう、橿原市弓道協会に加入しています。そしてその



中から、これまでに数名の国体選手が誕生しています。

橿原市では、中学校弓道部の活動とこの教室運営が市の弓道人口の底辺を広げる大きな場となっています。

更に、平成21年からは、この弓道教室の立ち上げにも

貢献された故昆布先生のご意志を受け継ぎ、秋の昆布杯弓道大会では、教室生たちを対象とした弓道教室の部も併設



し、初心者の皆さんに競技としての弓道にも接して頂く機会を作っています。

編集後記

今月もたくさんの原稿をちょうだいし、ありがとうございました。

今月は国体をメインにしたことから全日の大会、中央研修等については次号に送らせていただきますことをお許しください。